

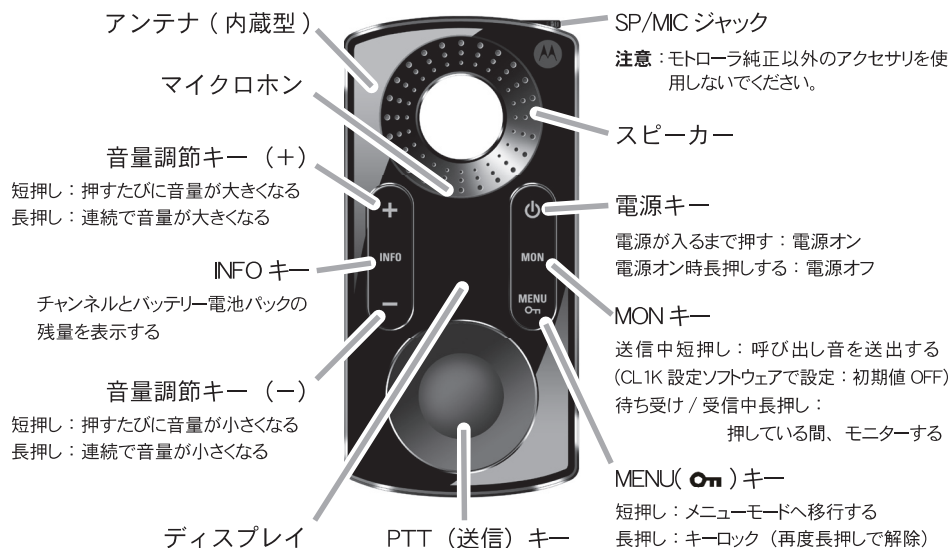
## CL1K 特定小電力トランシーバー クイックマニュアル

総務省技術基準適合品  
47 チャンネル

このたびはモトローラの特特定小電力トランシーバー CL1K をお買い上げいただきありがとうございます。  
ご使用される前に別紙の“製品の安全性と電磁波による影響”および“安全上のご注意”、このクイックマニュアルを必ずお読みください。

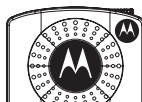
このトランシーバーは国内専用モデルで、海外では使用できません。

### 各部の説明



注意

- ベルトクリップやストラップ等の取り付けは、必ず CL1K の  ロゴとアクセサリの  ロゴの向きを一致させ、「カチッ」と音がするまで確実に取り付けてください。



逆さに取り付けるとロックされず、CL1K を落として破損することがあります。

- 当社製機器は、カタログのリストに掲載されるモトローラ純正アクセサリを必ず使用してください。純正品以外のアクセサリを使用すると故障や破損の原因になります。当社純正品以外のアクセサリの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、当社では一切責任を負いません。
- 電池パックは付属品及び純正アクセサリの電池パックをご使用ください。純正品以外の電池パックを使用すると漏液・発熱・破裂・発火の原因になります。
- アクセサリのヘッドセットを接続する時は音量を最小にしてください。音量調節キーで音量を最小レベル  に設定してか接続してください。音量を上げた状態で接続すると聴力障害の原因になったり、ヘッドセットを破損するすることがあります。
- アクセサリのヘッドセットを接続する時は、本体の PTT を押してもヘッドセットのマイクが有効になります。

### 電池パックの充電方法（約 5 時間充電）

#### 1. 電池パック（BT60）を取り付ける

- ・裏面のフタをスライドして、フタを外します。
- ・電池パックを溝の部分に挿入します。
- ・CL1K にフタを載せスライドし、元の状態に戻します。

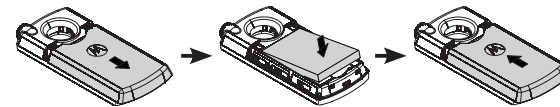


図 1：電池パックの入れ方

#### 2. 電池パックを充電する

- ・チャージャースタンドに AC アダプターを接続します（図 2）。
- ・CL1K の電源を切ります。
- ・上に向けた状態（キーが上面にある状態）で、「カチッ」と音がするまで確実にチャージャースタンドへ差し込みます（図 2）。
- ・電池パックのみ充電する場合は、チャージャースタンドの溝の部分に電池パックを挿入します（図 3）。
- ・電池パックが充電されるとチャージャースタンドの LED インジケーターが赤色に点灯します。充電時間は、空の状態ですら最大約 5 時間です（充電時間は電池パックの残量によって変化します）。充電が終了すると緑色に点灯しますので、チャージャースタンドのロゴ (M) を押しながら CL1K を手前に引き取り外します（図 4）。

補足：CL1K と予備の電池パック両方をセットした場合は、CL1K を充電した後に予備の電池パックを充電します。

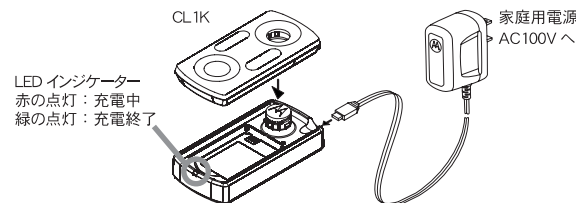


図 2：チャージャースタンドと AC アダプターの接続

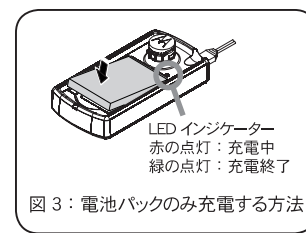


図 3：電池パックのみ充電する方法

ロゴ (M) を押しながら CL1K を手前に引き取り外す

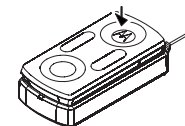


図 4：CL1K の外し方

- 補足：
- 電池パックを使用するときは、必ず充電してください。
  - 長時間使用しない場合は、電池パックを取り外しておいてください。
  - 正しい充電を行っても使用できる時間が短くなってきた場合は電池パックの寿命です。新しい電池パックをお買い求めください。
  - 不要になった電池パックは、大変危険ですので分解しないでください。端子にテープなどを貼り付けて絶縁し、有限責任中間法人 JBRC に加盟したリサイクル協力店または弊社へお持ちください。



### 使用時間の目安

電池パックの残量確認は電源を入れた状態で **INFO** を短く押すと、アイコンと音声ガイドでお知らせします。

使用できる時間の目安<sup>※</sup>は次のとおりです。

#### リチウムイオン電池パック (BT60)

内蔵スピーカー使用時  約 24 時間  
※ 6 秒送信、6 秒受信、48 秒待ち受けの測定条件。

上記の使用時間は目安です。実際に使用できる時間は、使い方や周囲の温度などによって異なります。

| アイコン                                                                                  | 音声ガイド       |
|---------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
|  | 満充電です       |
|  | 十分使えます      |
|  | 残りわずかです     |
|  | すぐに充電してください |

## 基本的な使いかた

### ① 電源を入れる

電源が入るまで  を押します。

- ・「ピロツ」と電子音が鳴り、5 秒間現在のチャンネルを表示します。
- ・もう一度  を長く押すと電源が切れます。

### ② 音量を調節する

**+** または **-** を押して、音量レベルを調節します。

 (OFF) ~  (中) ~  (大) : 12 段階設定可能

音量は音声を受信しながら調節してください。

### ③ チャンネルをあわせる

**MENU** を 1 回押し、次に **+** または **-** を押して、相手と同じチャンネルに合わせます。

- ・5 秒間点滅中にチャンネルを合わせます。その後チャンネルの表示は消えます。
- ・チャンネルの確認は **INFO** を短く押します。

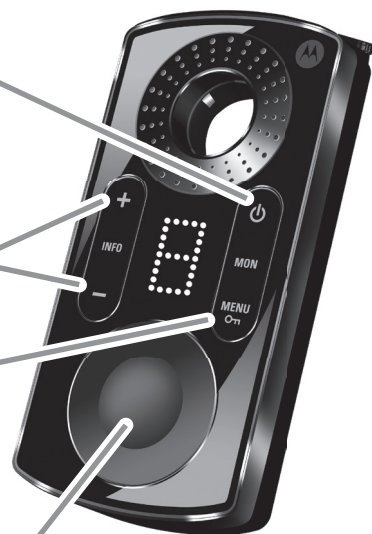
### ④ 押しながら話す

PTT キーを押しながらマイクに向かって話します。

- ・送信の初めにディスプレイへ  がアニメーション表示されます。
- ・PTT キーを放すと、待ち受けになり現在のチャンネルを表示します。相手の音声を受信すると  がアニメーション表示されます。
- ・マイクから口を 5cm 程度離してお話してください。

待ち受け中、CL1K が動作していることをアニメーション表示でお知らせします。

 →  0.6 秒間表示した後、7 秒間消灯を繰り返す。



**補足：** ● 工場出荷時で選択できるチャンネルは、合計 20 チャンネル (1 ~ 20) です。

別途、CL1K 設定ソフトウェアを使用すると中継機能のチャンネル拡張や各機能を設定することができます。

- 連続して送信できる時間は3分以内です。

3分間連続して送信し続けると、送信は自動的に停止します。

なお、送信が停止する 30 秒前になると、ディスプレイに数字でカウントダウン表示され、送信が停止する 10 秒前には、「ピピッ」と警告音が鳴ります。

また、送信が停止した場合、その後の2秒間は送信キーを押しても「ブープブープブー・・・」と警告音が鳴り送信できません。

**注意：** ● 相手の信号を受信しているときは、送信できません。

ディスプレイに  または  が表示されている時は、送信キーを押しても「ブープブープブー・・・」と警告音が鳴るだけで、送信できません。

- ヘッドセットを接続する時は音量を下げてから接続してください。

**-** を押して  に設定してから接続してください。音量を上げた状態で接続すると聴力障害の原因になったり、ヘッドセットを破損するすることがあります。

## メニューの設定

メニュー設定は下記の手順で行ってください。

1. **MENU** を短く押します (短く押すごとに 6 種類のメニューを選択することができます)。
2. **+** または **-** を短く押して、設定値を選択します。
3. **PTT** スイッチを短く押します (チャンネル設定時は押す必要ありません)。

| メニュー     | 表示                                                                                             | 機能説明                                                                                                 |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| チャンネル    |             | 通話チャンネルを設定します。<br>相手と同じチャンネルに合わせます。<br>表示は 15 チャンネルの表示例になります。                                        |
| スキャン     | <br>ON OFF  | スキャン機能を ON/OFF します。<br>自動でチャンネルを切り替えながら信号を探す機能です。<br>信号を受信するとスキャンが一時的に停止し、信号がなくなりしばらくするとスキャンを開始します。  |
| スケルチ     |             | スケルチのレベルを 4 段階設定可能です。<br>信号が入感していない時に出る耳障りなノイズ「ザー」音を消すことができます。<br>表示は SQL 3の表示例になります。                |
| VOX      | <br>ON OFF  | VOX 機能を ON/OFF します。<br>PTT スイッチを押さなくても、音声により送信 / 待ち受けを自動的に切り替えることができます。<br>話すと送信、話をやめると待ち受けの状態に戻ります。 |
| 音声ガイド    | <br>ON OFF  | 音声ガイド機能を ON/OFF します。<br>チャンネル設定を音声で読み上げます。                                                           |
| オートパワーオフ | <br>ON OFF | オートパワーオフ機能を ON/OFF します。<br>2時間何も操作しないと電源の切り忘れとみなし、自動的に電源を OFF にします。<br>1分前に「ピピッ」と警告音が鳴り、電源が切れます。     |

別途、CL1K 設定ソフトウェアを使用することで、繊細な機能をカスタマイズすることができます。

詳しくはホームページを参照してください

お問い合わせ先 ..... 03-6365-7000

ホームページ ..... <http://www.motorolasolutions.com/JP>

仕様は改良のため、予告なしに変更することがあります。

モトローラ、MOTOROLA、モトローラ・ソリューションズ、MOTOROLA SOLUTIONS およびモトローラのロゴマークは Motorola Trademark Holdings, LLC. の登録商標であり、そのライセンスに基づき使用しています。文中に記載されている他の製品名やサービス名等は、各社の商標または登録商標です。

QR コードで弊社ホームページへ移行できます。

モトローラ・ソリューションズ株式会社 PCR 事業部  
〒106-0032 東京都港区六本木 1-8-7 アーク八木ヒルズ

© 2014 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved.



M N O O 5 7 4 A 0 1

Printed in China.